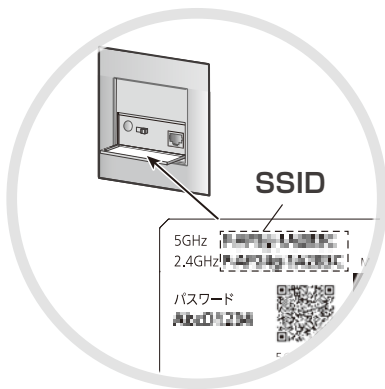


設定画面説明書

アドバンス シリーズ

宅内 LAN パネル

つなげてねット アクセスポイント



5 GHz と 2.4 GHz の SSID / パスワードを確認・変更することができます。
使用する SSID を追加したり、使用しない SSID を無効にすることもできます。
< 8、12 ページ >



本器を複数設置している場合、スマートフォンなどが最初につながっていた
本器から遠く離れると、近くの異なる本器に接続が切り換わりやすくする機能の
設定ができます。
< 28 ページ >



インターネット回線にモバイルルーターを使用する場合は、本器の動作モードを
コンバーターに切り換えてください。
< 25 ページ >

■この設定画面説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

目次

はじめに	3
設定画面について	3
本器の各部のなまえ	3
本器の各動作状態について	3
注意事項	4
設定画面を表示する	5
アクセス制御	6
本器の無線接続設定を確認する	8
5 GHz の接続設定を確認する	8
5 GHz の接続設定を変更する	10
2.4 GHz の接続設定を確認する（「2.4 GHz 接続設定」画面）	12
2.4 GHz の接続設定を変更する	14
無線機器の接続状態を確認する（「接続機器」画面）	16
詳細設定を行う	18
動作状態を確認、変更する（「動作状態」画面）	18
本体情報を確認、変更する	20
アクセス制御設定	21
ファームウェアを更新する	22
IP アドレスの割当方法を確認、変更する	23
動作モードを確認、変更する	24
無線接続の詳細設定を確認、変更する	26
ローミング設定を確認、変更する	28
本器を再起動する	30
本器を初期化する	31
設定状態を保存 / 復元する	32
設定一覧を確認する	33
本体設定の情報（「設定一覧」画面）	33
5 GHz 接続設定情報	34
2.4 GHz 接続設定情報	35
5 GHz / 2.4 GHz 共通設定、マルチキャスト設定情報	36
初期値（工場出荷時）一覧	37

はじめに

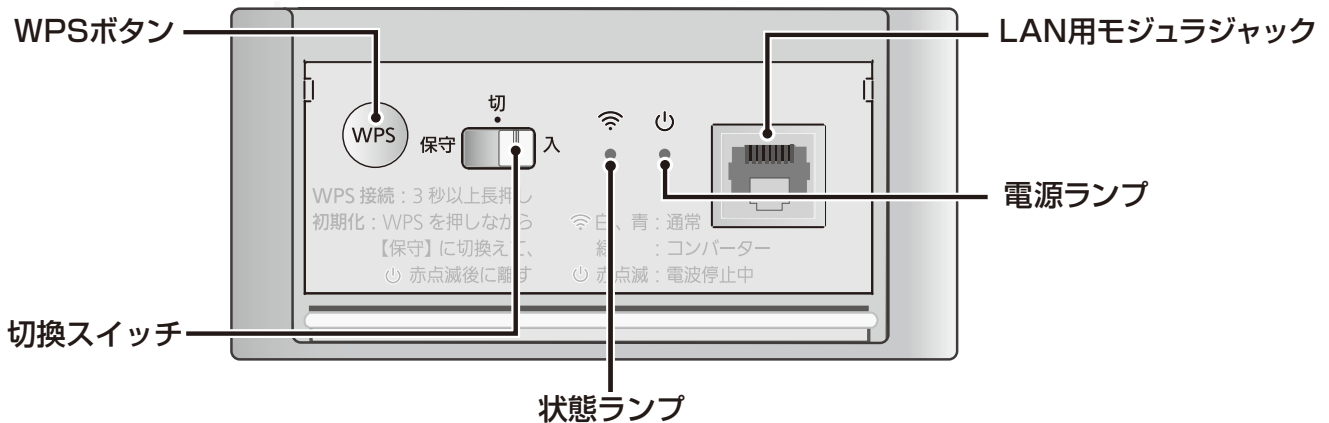
設定画面について

設定画面は、本器の各種設定の確認や変更することができます。

本器の設定画面は、スマートフォンを本器と同じネットワークに接続し、専用スマートフォンアプリ「つなげてネット設定アプリ」を用いるとブラウザに遷移して表示することができます。

設定画面の表示や変更はブラウザでおこなうため、ブラウザに遷移した後は専用スマートフォンアプリ「つなげてネット設定アプリ」は使用しません。

本器の各部のなまえ



本器の各動作状態について

切換スイッチが「入」のとき、アクセスポイントとして動作しています。

インターネット接続にモバイルルーターを使用する場合、本器をコンバーターに切り換える必要があります。

切換スイッチを「保守」することで、設定画面で設定変更することができます。

切換スイッチ	動作状態	利用シーン
入	アクセスポイント (工場出荷時)	本器を壁内のケーブルまたは LAN 用モジュラージャックに接続されたルーター経由でインターネット接続する場合（別途ルーターが必要です。）
	コンバーター (設定変更時)	本器をモバイルルーター経由でインターネットに接続する場合
保守	保守	・ルーターが接続されていない場合に設定画面を表示する場合 ・切換スイッチ「入」時の動作状態を変更する場合 ※保守時は宅内のネットワークから切り離されます。

● 「保守」時に本器への無線（Wi-Fi）接続と設定画面の表示方法

- ①スマートフォンなどの端末の Wi-Fi 設定画面から、カバー裏側に表示している SSID に「-S」が追加された SSID を選択し、カバー裏側に表示しているパスワードを入力して接続します。

※動作する SSID は、上記の「-S」を追加した SSID のみとなります。WPS 接続はできません。

- ② 192.168.110.1 を WEB ブラウザのアドレスバーに入力して、設定画面を表示します。

「つなげてネット 設定アプリ」で設定画面を表示することもできます。

注意事項

無線（Wi-Fi）の電波は、障害物（壁など）を超えて届くことがあるため、以下のようなセキュリティ問題が発生する可能性があります。

■通信内容を盗み見られる

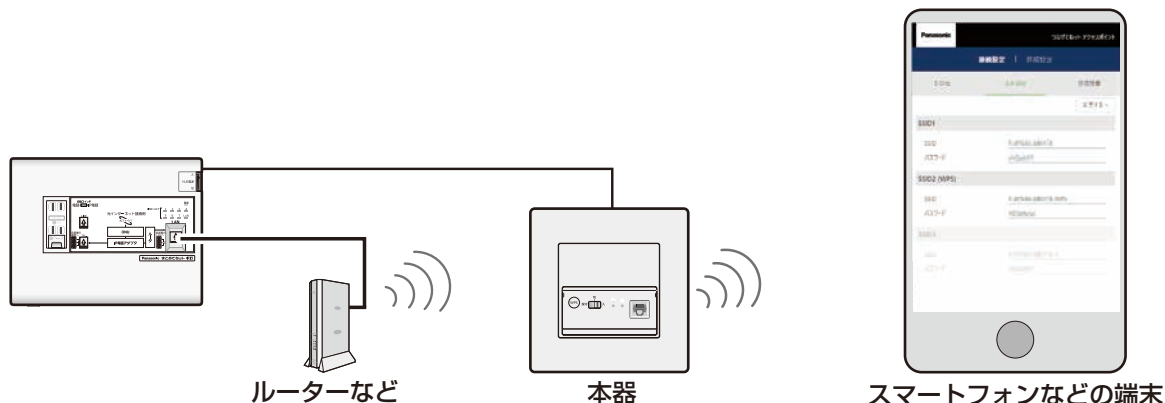
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、通信内容を盗み見られる可能性があります。

■不正に侵入される

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
 - ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
 - ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
 - ・ コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
-
- ・ 上記セキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、パスワード設定をランダムな英数字を使った複雑なパスワードに変更する必要があります。
 - ・ 上記のようなセキュリティ問題で生じた損害について、当社は一切の責任を負い兼ねますので、あらかじめご了承ください。

設定画面を表示する

1. スマートフォンを本器と同じネットワークに接続します。



スマートフォンなどの端末は、同じネットワーク内であれば、本器以外の無線ルーター・他の本器に接続していても設定画面を表示可能です。

2. 専用スマートフォンアプリ「つなげてねット設定アプリ」を起動します。

3. 設定画面を表示する本器をタップ (①) 後、「設定画面を開く」をタップ (②) します。

『アクセス制御画面』(6 ページ) が表示されます。

本器を複数設置している場合は、「本体識別ランプ」をタップし、登録したい本体の電源ランプが白赤交互点灯することを確認してください。



「つなげてねット設定アプリ」に本器が表示されない場合、以下を確認してください。

- ・スマートフォンを本器と同一ネットワーク内の SSID に無線 (Wi-Fi) 接続しているか？
- ・本器の切換スイッチが「入」になっているか？

「保守」の場合はスマートフォンを本器に直接無線接続する必要があります。(3 ページ参照)

※ 「入」「保守」に切り換え後は、1 ~ 2 分程度待ってから確認してください。

- ・iOS の場合、「ローカルネットワーク上のデバイスの検索および接続」を許可しているか？
iOS の設定アプリ内にある「つなげてねット設定アプリ」のネットワークを許可する必要があります。

※ iOS は、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

アクセス制御

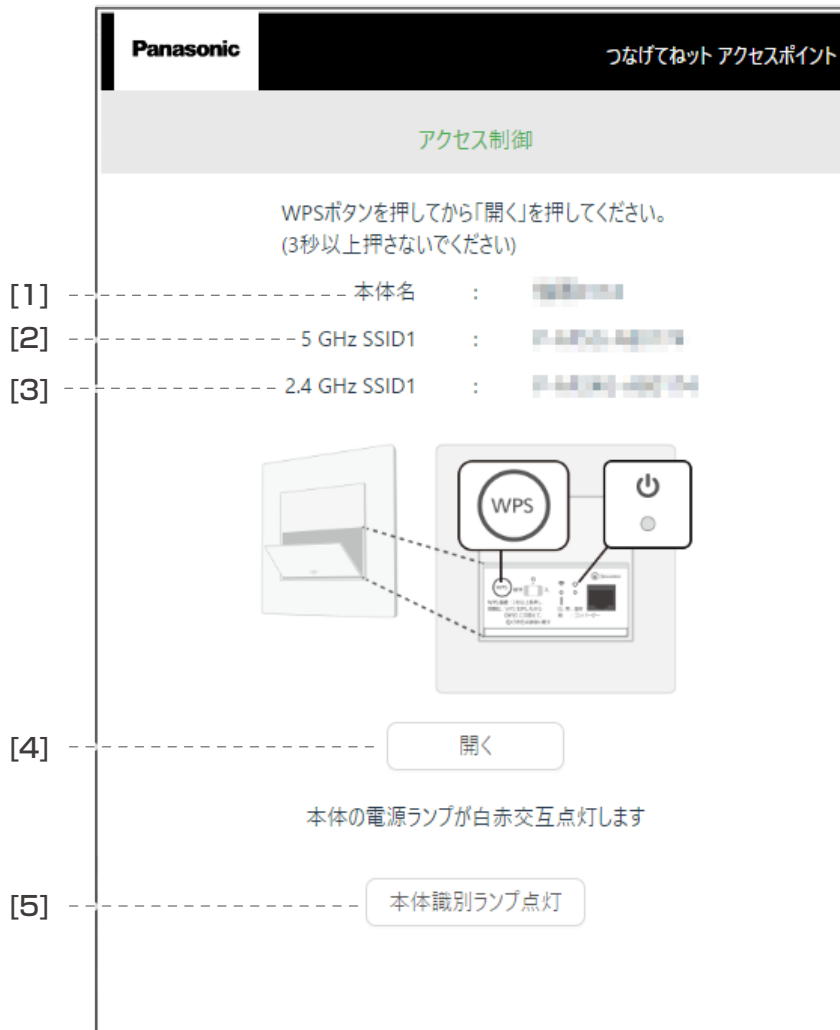
設定画面の表示をする前に WPS ボタンを押す必要があります。

WPS ボタンを押すと電源ランプが点滅し、設定画面の表示ができるようになります。

電源ランプが点滅中はこの画面は表示されません。

点滅中にもう一度 WPS ボタンを押すと点滅が終了し、このアクセス制御画面が表示されます。

WPS ボタンを押す代わりにパスワード入力に変更することもできます。(21 ページ)



番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	本体名	登録した本器の名前。
[2]	5 GHz SSID 1	現在、設定されている 5 GHz の SSID1。(無効にしても表示されます。)
[3]	2.4 GHz SSID 1	現在、設定されている 2.4 GHz の SSID1。(無効にしても表示されます。)
[4]	開く	本器の WPS ボタンを押した後、「開く」をタップすると、5 GHz の接続情報画面へ移動します。
[5]	本体識別ランプ点灯	タップすると、スマートフォンなどの端末が接続されている本器の電源ランプが白赤交互に点灯します。 複数台ある場合、どの本器と接続しているか識別できます。

パスワード入力を変更した場合（21 ページ）、以下の画面が表示されます。
設定したパスワードを入力して「開く」をタップしてください。

Panasonic つなげてねット アクセスポイント

アクセス制御

アクセス制御パスワードを入力してから「開く」を押してください。

[1] ----- 本体名 : [REDACTED]

[2] ----- 5 GHz SSID : [REDACTED]

[3] ----- 2.4 GHz SSID : [REDACTED]

パスワード

パスワードを表示する

[4] -----

本体の電源ランプが白赤交互点灯します

[5] -----

本器の無線接続設定を確認する

5 GHz の接続設定を確認する

接続設定 > 5 GHz

「接続設定」画面で「5 GHz」をタップすると、下記の画面が表示されます。



(注) 無効に設定している SSID はグレーアウト表示になります。

番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	変更する>	タップすると 5 GHz 設定画面へ移動します。
[2]	SSID1	5 GHz で通常使用する SSID です。 カバー裏側の接続情報に工場出荷時の SSID/パスワードが表示されています。 本器が複数設置されている場合に他の本器でローミング設定共通化 (28 ページ) をすると、SSID/パスワードは変更されます。
[3]	スキャンして接続	表示されている QR コードをスマートフォンなどのカメラで読み取り、SSID1 に接続することができます。
[4]	SSID2 (WPS)	WPS 接続する際に使用する SSID/パスワードです。
[5]	WPS 接続を開始する	タップすると WPS 接続を開始します。
[6]	SSID3	SSID3 の SSID/パスワードです。 SSID1 とは別の SSID を使用する場合に使用する SSID/パスワードです。

- 本器を複数設定している場合のみ
ローミング設定共通化 (28 ページ) を使用時に SSID1 を変更する場合は、再度ローミング設定共通化をしてください。

5 GHz の接続設定を変更する

接続設定 > 5 GHz > 変更する

「5 GHz」の「接続設定」画面で「変更する」をタップすると、下記の画面が表示されます。

[1] < 戻る

*:工場出荷時状態

[2] SSID1 有効* 無効

[3] SSID

[4] セキュリティ WPA2-PSK(AES)*

[5] パスワード

初期値を入力する [6]

[7] SSID2 (WPS) 有効 無効*

[8] SSID

[9] セキュリティ WPA2-PSK(AES)*

[10] パスワード

初期値を入力する [11]

[12] SSID3 有効 無効*

[13] SSID

[14] セキュリティ WPA2-PSK(AES)*

[15] パスワード

初期値を入力する [16]

設定する [17]

(注) SSID が無効な場合は
グレーアウト表示に
なります。

番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	<戻る	タップすると 5 GHz 接続設定画面に戻ります。
[2]	SSID1	SSID1 を使用する場合「有効」を指定してください。
[3]	SSID	SSID1 の SSID を入力します。(*1) SSID1 は、初期値 (工場出荷時) の情報がカバー裏側に記載されています。
[4]	セキュリティ	下記の中から SSID 1 のセキュリティ種別を選択します。 WPA3-SAE(AES), WPA2-PSK(AES)/WPA3-SAE(AES), WPA2-PSK(AES), WPA/WPA2-PSK(AES), WPA-PSK(AES) ※セキュリティ無しは選択できません。
[5]	パスワード	SSID1 のパスワードを入力します。(*2)
[6]	初期値を入力する	SSID1 の SSID/パスワードを初期値 (工場出荷時/カバー裏側に記載の値) に戻します。
[7]	SSID2 (WPS)	SSID2 を使用する場合「有効」を指定します。 SSID2 は WPS 用となります。5 GHz の WPS 接続を使用する場合に有効にしてください。
[8]	SSID	SSID2 の SSID を入力します。(*1)
[9]	セキュリティ	WPA2-PSK(AES) で固定されており、変更できません。
[10]	パスワード	SSID2 のパスワードを入力します。(*2)
[11]	初期値を入力する	SSID2 の SSID/パスワードを初期値 (工場出荷時) に戻します。
[12]	SSID3	SSID3 を使用する場合「有効」を指定します。 SSID1 とは別の SSID を使用する場合に有効にしてください。
[13]	SSID	SSID3 の SSID を入力します。(*1)
[14]	セキュリティ	下記の中から SSID3 のセキュリティ種別を選択します。 WPA3-SAE(AES), WPA2-PSK(AES)/WPA3-SAE(AES), WPA2-PSK(AES), WPA/WPA2-PSK(AES), WPA-PSK(AES)
[15]	パスワード	SSID3 のパスワードを入力します。(*2)
[16]	初期値を入力する	SSID3 の SSID/パスワードを初期値 (工場出荷時) に戻します。
[17]	設定する	タップすると本器の設定内容を更新します。

(*1) 入力文字の制限

32 文字以内。半角英数字、-(ハイフン)、_(アンダースコア)

(*2) 入力文字の制限

半角英数字記号 8-63 文字 (0-9, a-z, A-Z, !"#%&()*+<-./:;<=>@[^_{}~`?)

「設定する」をタップすると設定内容を反映します。

ご注意

- SSID/パスワードを変更した場合は、変更する SSID に接続している機器が切断されます。再度設定した SSID/パスワードを使用して機器を接続してください。
- 設定画面を本器に無線接続して表示している場合、設定時に他の SSID に接続が切り換わり設定が完了しても設定画面の表示ができない場合があります。
接続している端末の SSID を確認し、再度設定画面を表示してください。

2.4 GHz の接続設定を確認する（「2.4 GHz 接続設定」画面）

接続設定 > 2.4 GHz

「接続設定」画面で「2.4 GHz」をタップすると、下記の画面が表示されます。



(注)

- ・ SSID が無効な場合はグレーアウト表示になります。

番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	変更する>	タップすると 2.4 GHz 設定画面へ移動します。
[2]	SSID1	2.4 GHz で通常使用する SSID です。 カバー裏側の接続情報に工場出荷時の SSID/ パスワードが表示されています。
[3]	SSID2(WPS)	WPS 接続する際に使用する SSID/ パスワードです。
[4]	SSID3	SSID3 の SSID/ パスワードです。 SSID1 とは別の SSID を使用する場合に使用する SSID/ パスワードです。

2.4 GHz の接続設定を変更する

接続設定 > 2.4 GHz > 変更する

「2.4 GHz」の「接続設定」画面で「変更する」をタップすると、下記の画面が表示されます。

Panasonic つなげてネット アクセスポイント

2.4 GHz 設定

[1] < 戻る *:工場出荷時状態

[2] SSID1 有効* 無効

[3] SSID

[4] セキュリティ ▼

[5] パスワード

[6]

[7] SSID2 (WPS) 有効* 無効

[8] SSID

[9] セキュリティ ▼

[10] パスワード

[11]

[12] SSID3 有効 無効*

[13] SSID

[14] セキュリティ ▼

[15] パスワード

[16]

[17]

(注) SSID が無効な場合は
グレースアウト表示に
なります。

番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	<戻る	タップすると 2.4 GHz 接続設定画面に戻ります。
[2]	SSID1	SSID1 を使用する場合「有効」を指定してください。
[3]	SSID	SSID1 の SSID を入力します。(*1) SSID1 は、初期値（工場出荷時）の情報がカバー裏側に記載されています。
[4]	セキュリティ	下記の中から SSID 1 のセキュリティ種別を選択します。 ※セキュリティ無しは選択できません。 WPA3-SAE(AES), WPA2-PSK(AES)/WPA3-SAE(AES), WPA2-PSK(AES), WPA/WPA2-PSK(AES), WPA-PSK(AES)
[5]	パスワード	SSID1 のパスワードを入力します。(*2)
[6]	初期値を入力する	SSID1 の SSID/ パスワードを初期値（工場出荷時／カバー裏側に記載の値）に戻します。
[7]	SSID2 (WPS)	SSID2 は WPS 用となります。2.4 GHz の WPS 接続を使用しない場合は無効にしてください。
[8]	SSID	SSID2 の SSID を入力します。(*1)
[9]	セキュリティ	WPA2-PSK(AES) で固定されており、変更できません。
[10]	パスワード	SSID2 のパスワードを入力します。(*2)
[11]	初期値を入力する	SSID2 の SSID/ パスワードを初期値（工場出荷時）に戻します。
[12]	SSID3	SSID3 を使用する場合「有効」を指定します。 SSID1 とは別の SSID を使用する場合に有効にしてください。
[13]	SSID	SSID3 の SSID を入力します。(*1)
[14]	セキュリティ	下記の中から SSID 3 のセキュリティ種別を選択します。 WPA3-SAE(AES), WPA2-PSK(AES)/WPA3-SAE(AES), WPA2-PSK(AES), WPA/WPA2-PSK(AES), WPA-PSK(AES)
[15]	パスワード	SSID3 のパスワードを入力します。(*2)
[16]	初期値を入力する	SSID3 の SSID/ パスワードを初期値（工場出荷時）に戻します。
[17]	設定する	タップすると本器の設定内容を更新します。

(*1) 入力文字の制限

32 文字以内。半角英数字、-(ハイフン)、_(アンダースコア)

(*2) 入力文字の制限

半角英数字記号 8-63 文字 (0-9, a-z, A-Z, !"#%&()*+<-./:;<=>@[^_{}~?)

「設定する」をタップすると設定内容を反映します。

ご注意

- SSID/ パスワードを変更した場合は、変更する SSID に接続している機器が切断されます。再度設定した SSID/ パスワードを使用して機器を接続してください。
- 設定画面を本器に無線接続して表示している場合、設定時に他の SSID に接続が切り換わり設定が完了しても設定画面の表示ができない場合があります。
接続している端末の SSID を確認し、再度設定画面を表示してください。

無線機器の接続状態を確認する（「接続機器」画面）

接続設定 > 接続機器

「接続設定」画面で「接続機器」をタップすると、下記の画面が表示されます。

本器に無線 (Wi-Fi) 接続している機器のみ表示されます。

[1]

[2]

SSID No	SSID	MACアドレス	電波強度
SSID 1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	-34

[3]

SSID No	SSID	MACアドレス	電波強度
SSID 1	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	-37

番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	情報更新	タップすると、MAC アドレス、電波強度の値を更新します。
[2]	5 GHz	本器の5 GHz に接続されている各機器の情報。 (*1)
[3]	2.4 GHz	本器の2.4 GHz に接続されている各機器の情報。 (*1)

(*1) 各項目の表にある情報の解説

情報名	表示の意味、機能
SSID No	接続している SSID の番号と SSID。
SSID	
MAC アドレス	本器に接続している機器の MAC アドレス。
電波強度	本器が接続機器から受信している電波の強さ。 ※マイナスの数字が小さいほど電波が強いことを示しています。

- 本器に無線 (Wi-Fi) 接続している機器で表示されるのは、DHCPv4 を使用している機器 (ルーターなどから IPv4 アドレスを取得する機器) となります。
固定 IP アドレスが設定されている機器などは表示されません。

※ 切換スイッチ「保守」の場合は、本器と通信している端末の情報が表示されます。



番号	項目名	表示の意味、機能
[4]	IP アドレス	本器が端末に割り当てた IP アドレスが表示されます。
[5]	MAC アドレス	端末の MAC アドレスが表示されます。

詳細設定を行う

動作状態を確認、変更する（「動作状態」画面）

詳細設定 > 動作状態

「詳細設定」画面で「動作状態」をタップすると、下記の画面が表示されます。

[1] Information Update button (情報更新)

[2] Main Settings (本体設定)

[3] Device Name (本体名) 機器0174

[4] Device Image (本体画像)

[5] Status/Power Lamp (状態/電源ランプ) 有効

[6] Access Control Settings (アクセス制御設定) WPSボタン >

[7] Model Number (品番) WNW1610

[8] Serial Number (シリアル番号)

[9] MAC Address (MACアドレス)

[10] Firmware Version (ファームウェアバージョン) 1.00

[11] Current Operation Mode (現在の動作モード) アクセスポイント

[12] 'On' Operation Mode (「入」の動作モード) アクセスポイント >
(変更する場合は、「保守」または施工モードにしてください)

[13] IP Address Assignment (IPアドレス割当) DHCP >

[14] IP Address (IPアドレス) -----


[15] Subnet Mask (サブネットマスク) -----

[16] Default Gateway (デフォルトゲートウェイ) -----

[17] DNS (DNS) -----

[18] Wireless Detailed Settings (無線詳細設定) >

[19] Roaming Settings (ローミング設定) 11k: 無効, 11v: 無効, 11r: 無効 >

番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	情報更新	タップすると動作状態の一覧表示を更新します。
[2]	本体設定	>をタップすると「本体設定(③~⑤の設定)」画面に移動します。
[3]	本体名	専用スマートフォン用アプリ「つなげてねット設定アプリ」の表示に使用します。
[4]	本体画像	
[5]	状態 / 電源ランプ	状態ランプ、電源ランプの点灯は「有効」、消灯は「無効」と表示します。「有効」の時は本器のランプが点灯 / 点滅し、「無効」の時は消灯します。
[6]	アクセス制御設定	>をタップすると「アクセス制御」画面に移動します。
[7]	品番	本器の品番。
[8]	シリアル番号	本器のシリアル番号。
[9]	MAC アドレス	本器の MAC アドレス。
[10]	ファームウェアバージョン	本器のファームウェアバージョン。 新しいファームウェアが有る場合、  が表示されます。
[11]	現在の動作モード	「アクセスポイント」「コンバーター」「保守」「施工モード(※)」のいずれかを表示します。(※施工時のみ)
[12]	「入」の動作モード	「アクセスポイント」または「コンバーター」と表示します。 変更は、「保守」または「施工モード(※)」時のみ可能です。(※施工時のみ)
[13]	IP アドレス割当	IP アドレスの割当方法の現在設定。(「DHCP」または「固定」)
[14]	IP アドレス(*1)	現在の IP アドレス。
[15]	サブネットマスク(*1)	現在のサブネットマスク。
[16]	デフォルトゲートウェイ(*1)	現在のデフォルトゲートウェイ。
[17]	DNS(*1)	現在の DNS。
[18]	無線詳細設定	>をタップすると設計画面に移動します。
[19]	ローミング設定	802.11k, 802.11v, 802.11r が「有効」か「無効」かを表示します。

(*1)[14][15][16][17] は、動作モードや IP アドレス割当 [13] の設定により、下表のような表示になります。

切換スイッチ	IP アドレス割当の状態	設定保存後の表示
入	DHCP	ルーター (DHCP サーバー) から自動取得したアドレス、または AutoIP で自動割当したアドレス、設定を表示します。
	固定	設定された固定 IP アドレスを表示します。
保守	DHCP	IP アドレスを自動取得できないため、「- . - . - .」と表示します。
	固定	設定された固定 IP アドレスを表示します。

本体情報を確認、変更する

詳細設定 > 動作状態 > 本体設定

「動作状態」画面で「本体設定」をタップすると、下記の画面が表示されます。



番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	< 戻る	タップすると1つ前の画面に戻ります。
[2]	本体名	本体名を変更できます。(*1) 専用スマートフォン用アプリ「つなげてねット設定アプリ」の表示に使用します。
[3]	本体画像	ラジオボタン(○)をタップして、本体の色を選択できます。 専用スマートフォン用アプリ「つなげてねット設定アプリ」の表示に使用します。
[4]	状態 / 電源ランプ	ラジオボタン(○)をタップして、有効か無効かを選択します。 有効：常時点灯 / 点滅します。 無効：WPS ボタンなど各種操作時や「保守」時以外は消灯します。
[5]	設定する	タップすると設定内容を登録します。

(*1) 本体の名前に使える文字に関するご注意

- ・文字の種類：半角英数字、全角英数字、全角かな、全角カナ、全角記号、全角漢字
- ・最大文字数：全角 10 文字、半角 10 文字
- ・「入力した本体名は使用できません」のメッセージが出た場合、文字数が多過ぎたり、使えない文字を使用していたりすることが考えられます。変更してください。

アクセス制御設定

詳細設定 > 動作状態 > アクセス制御設定

「動作状態」画面で「アクセス制御設定」をタップすると、下記の画面が表示されます。

アクセス制御（WPS ボタン・パスワード）について

設定画面を表示する際に必要な操作を選択できます。

○ WPS ボタンの場合

WPS ボタンを押すと電源ランプが点滅し、設定画面の表示ができるようになります。

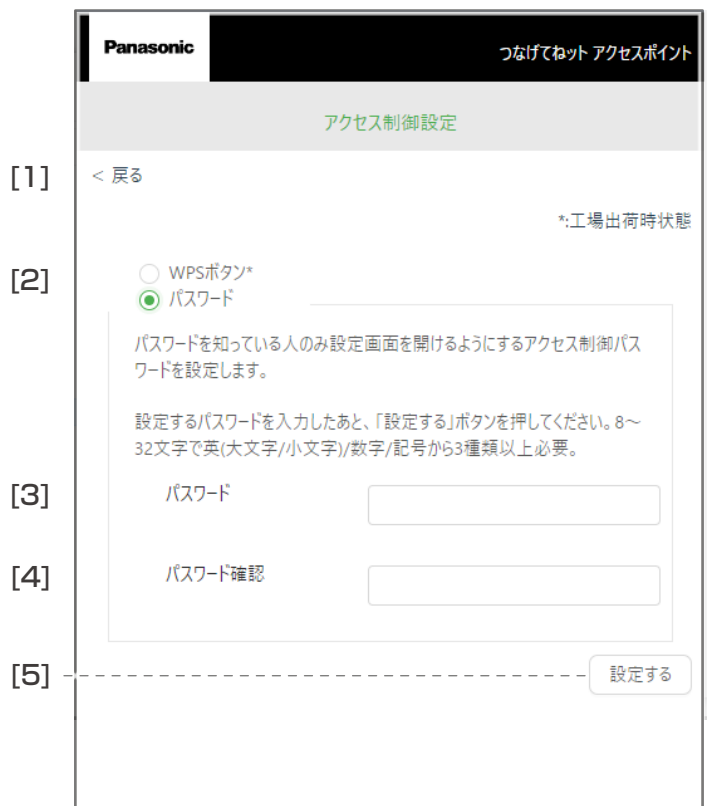
再度 WPS ボタンを押すと電源ランプの点滅が終了し、設定画面の表示ができなくなります。

工場出荷時は WPS ボタンに設定されています。

○パスワードの場合

設定画面を表示するときに設定したパスワードの入力が必要となります。

ご注意 設定したパスワードは確認することができません。忘れた場合、工場出荷状態に初期化する必要があります。



ご注意 10 分間継続して本器の設定画面を操作しなかった場合、再度アクセス制御が必要となります。

番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	< 戻る	タップすると1つ前の画面に戻ります。
[2]	WPS ボタン / パスワード	ラジオボタン (○) をタップして、WPS ボタンかパスワードを選択します。
[3]	パスワード	パスワード方式を選択した際に入力するパスワードを登録します。(*1)
[4]	パスワード確認	確認のため、[3] と同じパスワードを入力します。(*1)
[5]	設定する	タップするとパスワードを登録します。 タップ後は画面メッセージに従って操作してください。

(*1) パスワードは 8 文字以上、32 文字以下とし、下記 4 種類の文字の内、必ず 3 種類以上を含むこと

- ・ 大文字のアルファベット
- ・ 小文字のアルファベット
- ・ 数字
- ・ 記号 (!@#\$%^&*()_+{|}[]<>./?)

ファームウェアを更新する


詳細設定 > 動作状態 > ファームウェアバージョン

「動作状態」画面で「ファームウェアバージョン」をタップすると、下記の画面が表示されます。



番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	< 戻る	タップすると1つ前の画面に戻ります。
[2]	更新する	タップすると、新しいファームウェアをダウンロードして更新します。 タップ後は画面メッセージに従って操作してください。

本器は仕様変更などにより、ソフトウェアが更新されることがあります。
新しいファームウェアがある場合は、更新をお願いします。

新しいファームウェアがある場合は、
専用スマートフォン用アプリ「つなげてねット 設定アプリ」にも  マークが表示されます。
「つなげてねット 設定アプリ」を使用して更新することもできます。

IP アドレスの割当方法を確認、変更する

詳細設定 > 動作状態 > IP アドレス割当

「動作状態」画面で「IP アドレス割当」をタップすると、下記の画面が表示されます。

IP アドレス割り当て

切換スイッチ「入」時の本器の IP アドレス設定について、ラジオボタン (○) をタップして、DHCP か固定を選択します。

※切換スイッチ「保守」時は、192.168.110.1 の固定 IP アドレスで動作します。変更できません。



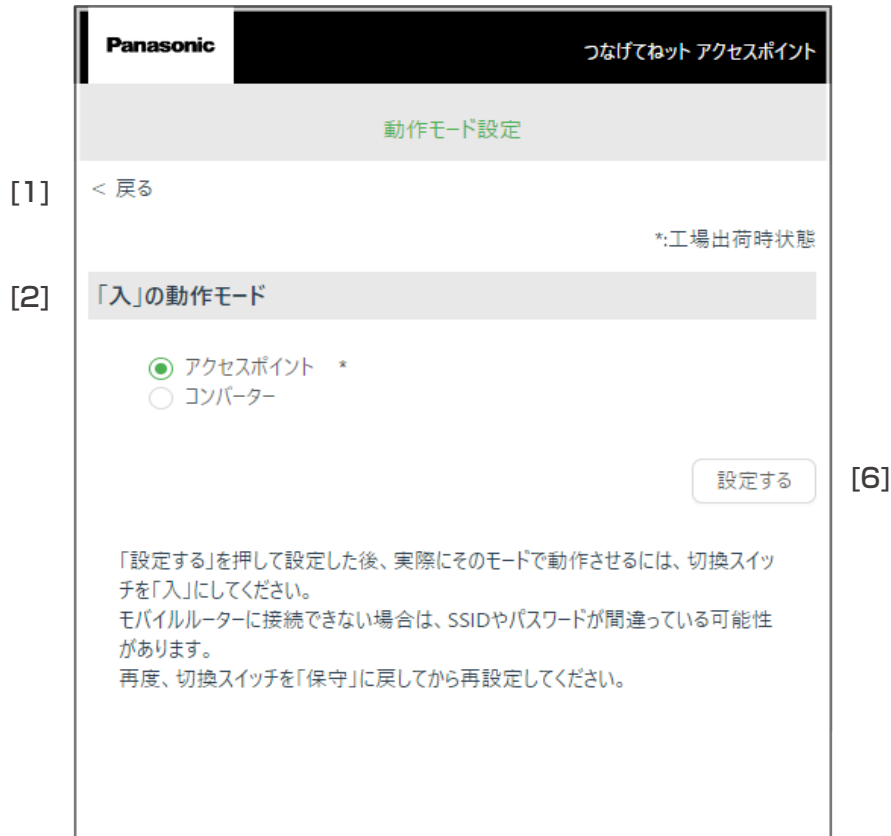
番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	< 戻る	タップすると1つ前の画面に戻ります。
[2]	固定 IP アドレス	設定する固定 IP アドレスを指定します。
[3]	サブネットマスク	固定 IP アドレスで使用するサブネットマスクを指定します。
[4]	デフォルトゲートウェイ	固定 IP アドレスで使用するデフォルトゲートウェイの IP アドレスを指定します。
[5]	DNS	固定 IP アドレスで使用する DNS の IP アドレスを指定します。
[6]	設定する	タップすると設定内容を登録します。

動作モードを確認、変更する

詳細設定 > 動作状態 > 「入」の動作モード

「動作状態」画面で『「入」の動作モード』をタップすると、下記の画面が表示されます。

アクセスポイントの場合（コンバーターの場合は次ページ）



番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	< 戻る	タップすると1つ前の画面に戻ります。
[2]	「入」の動作モード	ラジオボタン (○) をタップして、アクセスポイントかコンバーターを選択します。
[3]	SSID	[2] でコンバーターを選択した場合、「接続先選択」をタップして、接続するモバイルルーターのSSIDを選択します。
[4]	接続先選択	タップすると通信範囲内にあるモバイルルーターのSSIDを表示します。
[5]	パスワード	モバイルルーターのSSIDのパスワードを入力します。
[6]	設定する	タップすると設定内容を登録します。本器の切換スイッチを「入」にすると設定した動作になります。
[7]	情報更新	通信範囲内にあるモバイルルーターのSSIDを再検出します。
[8]	選択	接続したいSSIDのラジオボタン(○)をタップして選択します。
[9]	選択する	接続するSSIDを決定します。

コンバーターの場合（アクセスポイントの場合は前ページ）

動作モード設定

< 戻る

*:工場出荷時状態

「入」の動作モード

アクセスポイント *
 コンバーター

接続するモバイルルーターの情報を設定します。

「接続先選択」ボタンを押して表示されるリストの中から接続するSSIDを選択し、対応するパスワードを設定してください。

SSID

接続先選択 >

パスワード

設定する

「設定する」を押して設定した後、実際にそのモードで動作させるには、切換スイッチを「入」にしてください。
 モバイルルーターに接続できない場合は、SSIDやパスワードが間違っている可能性があります。
 再度、切換スイッチを「保守」に戻してから再設定してください。

接続する相手先

< 戻る

接続先選択

情報更新

接続可能な相手先のSSIDを下記に表示しています。
 接続するSSIDを選択して、「選択する」ボタンを押してください。

選択	SSID	周波数
<input type="radio"/>	TP-LINK_XXXX	2.4G
<input type="radio"/>	TP-LINK_XXXX_5G	5G
<input type="radio"/>	TP-LINK_XXXX_5G_2	5G
<input type="radio"/>	XXXX-XXXX	5G
<input type="radio"/>	XXXX-XXXX	2.4G
<input type="radio"/>	XXXX-XXXX-XXXX	2.4G
<input type="radio"/>	XXXX-XXXX-XXXX	2.4G
<input type="radio"/>	XXXX-XXXX-XXXX	2.4G
<input type="radio"/>	XXXX-XXXX-XXXX	5G
<input type="radio"/>	XXXX-XXXX-XXXX	2.4G

< 1 2 3 >

選択する

コンバーターについて

インターネット回線にモバイルルーターを使用する場合は、本器の動作モードをコンバーターに切り換えてください。本器が2台以上ある場合、他の本器は動作モードをアクセスポイントにしてください。

<切換方法>

1. 切換スイッチを「保守」にして設定画面を開く
 設定画面を開く方法は【「保守」時に本器への無線 (Wi-Fi) 接続と設定画面の表示方法】(3 ページ)を確認してください。
2. 動作モードを「コンバーター」にして、使用するモバイルルーターのSSIDを選択しパスワードを設定する
3. 切換スイッチを「入」にする

で注意

宅内の同じネットワークが以下の場合は、コンバーターに切り換えないでください。正しく通信ができません。

- ・他のルーターが接続されている。
- ・コンバーターに設定した他の本器がある。



無線接続の詳細設定を確認、変更する

詳細設定 > 動作状態 > 無線詳細設定

「動作状態」画面で「無線詳細設定」をタップすると、下記の画面が表示されます。

通常変更する必要はありません。

[1] < 戻る

高度な設定（通常は変更不要） *：工場出荷時状態

[2] 5 GHz

[3] 周波数チャンネル 自動(DFS)*
 * 144chを含む
(現在：140ch)

[4] チャンネル帯域幅 20/40/80MHz*

[5] 送信出力 100%*

[6] 2.4 GHz

[7] 周波数チャンネル 自動*
(現在：1ch)

[8] チャンネル帯域幅 20MHz*

[9] 送信出力 100%*

[10] マルチキャスト制御

[11] IGMPスヌーピング 有効 無効*

[12] MLDスヌーピング 有効* 無効

[13] Wi-Fiマルチメディア

[14] WMM 有効* 無効

[15] WMM APSD 有効 無効*

[16] 設定する

■コンバーターとして動作している場合

- モバイルルーターなどと無線接続している周波数(5 GHzまたは 2.4 GHz)は変更することはできません。グレーアウトします。
- チャンネル (CH) は現在のチャンネルを表示しますが、その他の値は本器に設定している値を表示し、実際の動作とは異なる場合があります。

番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	< 戻る	タップすると1つ前の画面に戻ります。
[2]	5 GHz	5 GHz の設定をします。
[3]	周波数チャンネル	<p>周波数帯を選択します。設定した周波数帯からチャンネルが選択されます。 切替表示と周波数チャンネルの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ W52: 36/40/44/48ch ・ W53(DFS): 52/56/60/64ch (*1) ・ W56(DFS): 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140/144ch (*1) ・ 自動→自動 (DFS) ※自動 (DFS) : 全ての周波数帯 <p>・ 144ch にチェックを入れると、W56(DFS) / 自動 (DFS) 選択時、144ch も追加してチャンネルが選ばれます。 ※ 144ch にチェックを入れる場合、接続する全ての機器が 144ch に対応していることを確認してください。対応していない場合、選ばれたチャンネルによっては接続できない場合があります。 ・ 動作しているチャンネルが下に表示されます。</p> <p>ご注意 W52 と W53(DFS) は電波法により屋外での使用が禁止されています。</p>
[4]	チャンネル帯域幅	<p>「20/40 MHz」、 「20/40/80 MHz」 の中からチャンネル帯域幅を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20/40 MHz: 20 MHz、40 MHz のどちらかに自動切替 ・ 20/40/80 MHz: 20 MHz、40 MHz、80 MHz のいずれかに自動切替
[5]	送信出力	送信出力 (100%、75%、50%、25%、12.5%) を選択します。
[6]	2.4 GHz	2.4 GHz の設定をします。
[7]	周波数チャンネル	<p>「自動」 または下記のチャンネルから選択します。 1ch, 2ch, 3ch, 4ch, 5ch, 6ch, 7ch, 8ch, 9ch, 10ch, 11ch, 12ch, 13ch 自動に設定した場合、空きチャンネルを自動検出し、右端にその周波数を表示します。</p>
[8]	チャンネル帯域幅	<p>「20 MHz」、 「20/40 MHz」 の中からチャンネル帯域幅を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 20 MHz: 20 MHz 固定 ・ 20/40 MHz: 20 MHz、40 MHz のどちらかに自動切替
[9]	送信出力	送信出力 (100%、75%、50%、25%、12.5%) を選択します。
[10]	マルチキャスト制御	<p>マルチキャストパケットを必要なポートだけに転送するか、すべてのポートに転送するかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有効: 必要なポートだけに転送 ・ 無効: すべてのポートに転送
[11]	IGMP スヌーピング	IPv4 のマルチキャストパケットの有効 / 無効を選択します。
[12]	MLD スヌーピング	IPv6 のマルチキャストパケットの有効 / 無効を選択します。
[13]	Wi-Fi マルチメディア	音声や映像などのマルチメディアの受信に関する設定の確認と変更。
[14]	WMM	音声や映像が他の通信の影響を受けにくくしたい場合は「有効」を選択します。通常、「有効」で使用します。「無効」を選択すると通信できない機器がありますのでご注意ください。
[15]	WMM APSD	「有効」の場合、接続している無線機器の消費電力を抑制することができる場合があります。(10 ~ 30%の抑制が可能)
[16]	設定する	タップすると設定内容を登録します。 タップ後は画面メッセージに従って操作してください。

(*1) W53 と W56 は気象・航空レーダー波を検出した周波数を自動的に変更する必要があり、約 1 分間確認してから電波送信開始します。

ローミング設定を確認、変更する

詳細設定 > 動作状態 > ローミング設定

「動作状態」画面で「ローミング設定」をタップすると、下記の画面が表示されます。

[1] < 戻る

*工場出荷時状態

[2] **本器のローミング設定 (5 GHz SSID1)**
有効/無効を選択し、「設定する」ボタンを押してください。ローミング設定共通化と一括で設定できます。

[3] SSID1

[4] 802.11k 有効 無効*

[5] 802.11v 有効 無効*

[6] 802.11r 有効 無効*

[7] **ローミング設定共通化 (5 GHz SSID1)**
本器を複数設置している場合、スマートフォンなどが最初につながっていた本器から遠く離れると、近くの異なる本器に接続が切り替わりやすくする機能の設定ができます。「ローミング設定共通化」設定をすると5 GHz SSID1の接続情報が設定画面表示中の本器と共通になります。

< 設定方法 >

1. 上部の「本器のローミング設定」を全て「有効」にする
2. 接続を切り替えたい他の本器について下部の「適用する」にチェックを入れる
3. 「設定する」ボタンを押す
4. 設定した他の本器の【設定】が「一致」と表示されていることを確認する

【本機能について】

- 設定画面表示中の本器のSSID1のSSID、パスワード、802.11k 802.11v 802.11rと同じ値が設定されます。またセキュリティはWPA2-PSK(AES)に一括変更します。いずれかの設定を変更して別の値に変更すると機能しません
- 5 GHz SSID1のSSID/パスワードは共通化されるため、接続する本器を選択することはできません
- 本体表示の5 GHzの接続情報が変更となります
- 無線(5 GHz)が無効の場合は、共通化できません

【ローミングについて】

- 端末がローミング対応機器の場合のみ有効です
- ローミング条件は端末の仕様によります (異なる本器へ近づくと常に切り替わるとは限りません)

[8] 情報更新

[9]

本体名	SSID1	設定/無効	適用する
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	不一致/有効	<input checked="" type="checkbox"/>
XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	不一致/無効	<input type="checkbox"/>

[10] 設定する

本器を複数設置している場合、スマートフォンなどが最初につながっていた本器から遠く離れると、近くの異なる本器に接続が切り換わりやすくする機能の設定（「ローミング設定共通化」）ができます。

「ローミング設定共通化」は、画面内の<設定方法>（28 ページ）に従い設定してください。

「ローミング設定共通化」設定をすると、5 GHz SSID1 の接続情報が設定画面表示中の本器と共通になります。

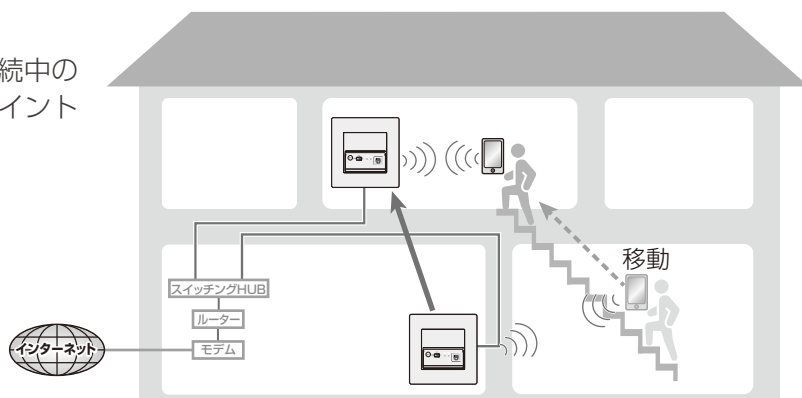
- 本製品の 5 GHz SSID1 は、IEEE 802.11k, 802.11v, 802.11r の高速ローミング規格に対応しています。
- 「ローミング設定共通化」をすることで当社のアクセスポイント間の接続切替を高速に行うことを可能にします。
- 保守モードで動作中のアクセスポイントでは高速ローミングは動作しません。

番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	<戻る	タップすると1つ前の画面に戻ります。
[2]	本器のローミング設定	5 GHz の SSID1 のみローミング機能を有効／無効の選択ができます。
[3]	SSID	ラジオボタン (○) をタップして、有効／無効を選択します。
[4]	802.11k	802.11k (近隣レポート) 機能を設定します。
[5]	802.11v	802.11v (BSS ローミング) 機能を設定します。
[6]	802.11r	802.11r (高速 BSS ローミング) 機能を設定します。
[7]	ローミング設定共通化 (5 GHz SSID1)	本器の 5 GHz の SSID1 の設定内容を他のアクセスポイントに設定し、共通化することができます。 「ローミング設定共通化」は以下の設定が共通化されます。 ・ローミング設定 (802.11k, 802.11v, 802.11r) ・5 GHz SSID1 の SSID、パスワード 「ローミング設定共通化」後に、ローミングが発生しないようにする場合は以下の変更をしてください。 ・ローミング設定 (802.11k, 802.11v, 802.11r) をすべて無効にする ・5 GHz SSID1 の SSID、パスワードを変更する。 ※工場出荷時の初期値に戻すときは 15 ページの「初期値を入力する」を使用する。各本器ごとに変更してください。
[8]	情報更新	宅内のアクセスポイントを再検索します。
[9]	本体名 SSID1 設定 / 無線 適用する	・本体名：宅内に設置されている本商品の情報が表示されます。 ・SSID 1：5 GHz の SSID1。 ・設定：本器と他器のローミング設定の一致 / 不一致を表示します。 ・無線：5 GHz, SSID1 の有効 / 無効を表示します。 ・適用する：ローミング設定と 5 GHz の SSID1 を本器と同じにする場合はチェックを入れます。(*1)
[10]	設定する	タップすると設定内容を登録します。 タップ後は画面メッセージに従って操作してください。

(*1) 5 GHz SSID1 が無効の場合はグレーアウト表示になり、共通化できません。共通化する場合は先に 5 GHz の SSID1 を有効に変更してください。

「ローミング」とは

宅内に本商品が複数設置してある場合、Wi-Fi 接続中の機器を移動させたときに接続先が別のアクセスポイントに切り換わりやすくする機能です。



ご注意

各ローミング設定を有効にすると、端末側の仕様により通信ができない場合があります。通信できない端末は、5 GHz の SSID1 以外に接続するかローミング設定を無効にしてください。

本器を再起動する

詳細設定 > 動作状態 > 再起動する



番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	再起動する	タップすると再起動します。 再起動中は本器に接続している機器は切断されます。

ご注意

- 設定画面を本器に無線接続して表示している場合、再起動が完了しても設定画面の表示ができない場合があります。接続している端末の SSID を確認し、再度設定画面を表示してください。
- 再起動完了までの時間を表示しますが、設定画面が再度表示できるようになるまでさらに約 60 秒必要となる場合があります。

本器を初期化する

詳細設定 > 動作状態 > 初期化する



番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	初期化する	タップすると工場出荷時状態へ戻ります。 接続情報（SSID/パスワード）が変更になると、接続している機器は通信できなくなります。 2.4 GHzおよび5 GHzのSSIDはカバー裏側に表示しているSSID/パスワードになります。

ご注意

- 設定画面を本器に無線接続して表示している場合、再起動が完了しても設定画面の表示ができない場合があります。接続している端末のSSIDを確認し、再度設定画面を表示してください。
- 初期化完了までの時間を表示しますが、設定画面が再度表示できるようになるまでさらに約60秒必要となる場合があります。

設定状態を保存 / 復元する

詳細設定 > 動作状態 > 保存する / 復元する

設定の保存と復元

現在の設定をファイルに保存できます [1] 保存する

ファイルに保存した設定に復元できます

【設定の復元について】
事前に工場出荷時状態へ初期化してから復元してください。初期化しない場合、正しく復元できない場合があります。

ファイル選択 : [2] 参照...

[3] 復元する

番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	保存する	タップすると設定内容を接続しているスマートフォンなどの端末のダウンロードフォルダに保存します。
[2]	参照 ...	タップして復元に使用する設定ファイルをスマートフォンなどの端末から選択します。設定ファイルの名前は、Configuration.bak となります。
[3]	復元する	選択した設定ファイルで本器の設定内容を書き換え、設定内容を登録します。タップ後は画面メッセージに従って操作してください。

ご注意

- 接続情報（SSID/パスワード）が変更になると、接続している機器は通信できなくなります。
- 設定画面を本器に無線接続して表示している場合、再起動が完了しても設定画面の表示ができない場合があります。接続している端末のSSIDを確認し、再度設定画面を表示してください。

設定一覧を確認する

本体設定の情報（「設定一覧」画面）

詳細設定 > 設定一覧

各項目で設定した内容を一覧表示します。右端の「初期値から変更」の列で、初期値か変更値かを確認できます。

Panasonic		つなげてネット アクセスポイント
接続設定		詳細設定
動作状態		設定一覧
項目	設定値	初期値から変更
詳細設定		
本体名	機器0174	
本体画像	WNW1610.0	
状態/電源ランプ	有効	
品番	WNW1610	-
シリアル番号	XXXXXXXXXX	-
MACアドレス	XXXXXXXXXX	-
ファームウェアバージョン	1.00	-
IPアドレス割当	DHCP	
IPアドレス	未設定	-
サブネットマスク	未設定	-
デフォルトゲートウェイ	未設定	-
DNS	未設定	-
「入」の動作モード	アクセスポイント	
アクセス制御パスワード	未設定	

[1]

番号	項目名	表示の意味、機能
[1]	初期値から変更	空欄：初期値 ○：初期値（工場出荷時）から変更あり -：対象外（固定値、または変更できない項目）

5 GHz 接続設定情報

5 GHz 接続設定		
SSID1	有効	
SSID	SSID1-5GHz-1	
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)	
パスワード	12345678	
SSID2(WPS)	無効	
SSID	SSID2-5GHz-2	
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)	
パスワード	12345678	
SSID3	無効	
SSID	SSID3-5GHz-3	
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)	
パスワード	12345678	
SSID4(保守)	有効	※
SSID	SSID4-5GHz-4	※
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)	※
パスワード	12345678	※
周波数チャンネル	自動(DFS)	
チャンネル帯域幅	20/40/80MHz	
送信出力	100%	
802.11k	無効	
802.11v	無効	
802.11r	無効	

※SSID4 は切替スイッチが「保守」時のみ動作します。

SSID は、カバー裏側に表示している SSID に「-S」を追加したものになります。

パスワードはカバー裏側の表示と同一になり、変更できません。

2.4 GHz 接続設定情報

2.4 GHz 接続設定		
SSID1	有効	
SSID	SSID1	
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)	
パスワード	パスワード	
SSID2(WPS)	有効	
SSID	SSID2	
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)	
パスワード	パスワード	
SSID3	無効	
SSID	SSID3	
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)	
パスワード	パスワード	
SSID4(保守)	有効	-
SSID	SSID4	-
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)	-
パスワード	パスワード	-
周波数チャンネル	自動	
チャンネル帯域幅	20MHz	
送信出力	100%	

※

※SSID4 は切換スイッチが「保守」時のみ動作します。
 SSID は、カバー裏側に表示している SSID に「-S」を追加したものになります。
 パスワードはカバー裏側の表示と同一になり、変更できません。

5 GHz / 2.4 GHz 共通設定、マルチキャスト設定情報

5 GHz / 2.4 GHz 共通設定		
WMM	有効	
WMM APSD	無効	
コンバーター用SSID	未設定	
コンバーター用パスワード	未設定	
マルチキャスト設定		
IGMPスヌーピング	無効	
MLDスヌーピング	有効	

初期値（工場出荷時）一覧

項目名	初期値
● 本体設定	
本体名	機器 MAC アドレス下 4 桁 例：機器 0000
本体画像	ホワイト
状態 / 電源ランプ	有効
IP アドレス割当	DHCP
「入」の動作	アクセスポイント
設定画面表示	WPS ボタン押して表示
● 5 GHz 接続設定	
< SSID1 >	有効
SSID	P-AP5G-MAC アドレス 下 6 桁 カバー裏側の表示と同一 例：P-AP5G-000000
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
パスワード	2.4 GHz 用< SSID1 >と 共通 カバー裏側の表示と同一
< SSID2 (WPS) >	無効
有効時	SSID
	P-AP5G-MAC アドレス 下 6 桁 -WPS 例：P-AP5G-000000-WPS
	セキュリティ
	WPA2-PSK(AES)
	パスワード
	他と異なるパスワード
< SSID3 >	無効
有効時	SSID
	P-AP5G-MAC アドレス 下 6 桁 -A 例：P-AP5G-000000- A
	セキュリティ
	WPA2-PSK(AES)
	パスワード
	カバー裏側の表示と同一
周波数チャンネル	自動 (DFS)
チャンネル帯域幅	20/40/80 MHz
送信出力	100%
802.11k	無効
802.11v	無効
802.11r	無効

項目名	初期値
● 2.4 GHz 接続設定	
< SSID1 >	有効
SSID	P-AP24G-MAC アドレス 下 6 桁 カバー裏側の表示と同一 例：P-AP24G-000000
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
パスワード	5 GHz 用< SSID1 >と 共通 カバー裏側の表示と同一
< SSID2(WPS) >	有効
SSID	P-AP24G-MAC アドレス 下 6 桁 -WPS 例：P-AP24G-000000-WPS
セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
パスワード	他と異なるパスワード
< SSID3 >	無効
有効時	SSID
	P-AP24G-MAC アドレス 下 6 桁 -A 例：P-AP24G-000000- A
	セキュリティ
	WPA2-PSK(AES)
	パスワード
	カバー裏側の表示と同一
周波数チャンネル	自動
チャンネル帯域幅	20 MHz
送信出力	100%
● 5 GHz / 2.4 GHz 共通設定	
WMM	有効
WMM APSD	無効
マルチキャスト設定	
IGMP スヌーピング	無効
MLS スヌーピング	有効

※ MAC アドレスは、カバー内の表示または設定画面で確認できます。

※ 「本体名」と「本体画像」は専用スマートフォンアプリ「つなげてねット設定アプリ」での表示に使用します。

パナソニック株式会社 電設資材ビジネスユニット

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地

© Panasonic Corporation 2023

8A9 S86 0000 2

1222DC10923